サステナブルな『ゆず油』シリーズで ブランドアップを実現！

株式会社 ウテナ
開発統括部マーケティング部 小森 遥香さん

活用方法がなかったゆずの種から 高品質のオイルの抽出に成功

1927年に創業し、烏山の地に本社を設立した化粧品メーカー『株式会社ウテナ』。ウテナは花の萼（がく）のことで「花の美しさを支えるように、すべての人の美しさを支えたい」という思いが込められているそうです。スキンケアとヘアケアを中心に主力商品である『ウテナモイスチャー』は40年以上、まとめ髪用スティック型ワックス『マトメージュ』も25年以上、幅広い年齢層に長く愛されている商品が数多くあります。

2027年に創業100周年を迎える同社。これからの100年を見据え、サステナビリティにも取り組んでいます。その取り組みを代表するのがヘアケアシリーズ『ゆず油』です。

『ゆず油』シリーズのマーケティングを担当する小森遥香さんに話をうかがうと、「2013年に発売された『ゆず油』シリーズは、サステナブルやSDGsが叫ばれる前から環境価値を意識した開発が進められてきました。発売当初は日本国内の複数の産地のゆずを使用していましたが、このブランドのシリーズを発展させていくために商品の改善を探っていたなかで、高知県の北川村との出会いがありました。江戸時代から続くゆずの産地である北川村は、日本で初めてEUへ青果の状態での輸出が認められたほど、高品質のゆずを生産しています。ところが、実や皮はもちろん、種にも栄養豊富な油があると知りながら、北川村にはその抽出技術がなく、ほとんどの種を捨ててしまっていたのです。そこで専門技術をもつ企業の協力を経て、ゆずの種から高品質のオイルを抽出することに成功。2016年に北川村のゆずの種を使用してリニューアルした『ゆず油』シリーズを発売しました」。

企業として持続可能な活動を行うには、環境価値だけを追い求めるのではなく、社会的価値と経済価値も同時に実現させることが重要。廃棄されていたゆずの種を使用した商品は、より高品質なブランドへと成長して売り上げアップし、さらに北川村への貢献という社会的価値にもつながっていったのです。

ウテナのスキンケア・ヘアケアは家計に優しい価格で日常的に長く使いやすい

北川村の小中学生がパッケージのイラストや店頭POPなどを作成。SNSプロモーションや店頭販売も行った

▶『ゆず油』ヘアオイル。くせ・うねりで広がる髪に。
ベタつかずしっとりまとまるヘアオイル。爽やかなゆずの香り

環境に配慮して社会貢献もできる 『ゆず油』を低価格で商品化

北川村のゆずの種を使用した『ゆず油』シリーズは、2022年サステナブルコスメアワードで「審査員賞：コストパフォーマンス部門」を受賞。「環境や社会への貢献が低価格で実現できていることを評価されました。『ゆず油』シリーズは販売価格1,000円程度。普段のヘアケアで気軽に使っていただきながら、環境に貢献できることが好評です。環境だけを重視するとコストが高くなってしまいますが、作る方も使う方も長く続けられるように持続的に成り立っていけるバランスを考えています」と小森さん。他のブランドでも森林保全につながるFSC認証の紙や再生ガラス、バイオマスPETなど、環境に配慮したパッケージを使用しています。

さらに、ウテナと北川村の小中学生で、北川村のゆずオイルを使った『ユトワ ハンドクリームA』のパッケージデザインなどを共同開発。小森さんは月1回ペースで数カ月にわたって北川村を訪れて、マーケティングや販売促進の出張授業をしました。「パッケージのゆずのイラストは1人1個ずつ、消しゴムはんこを彫って子どもたちに作ってもらいました。自分の作ったものが商品となって店頭に並んだときは達成感があったと思います。小中学生を東京へ招いて販売イベントを行ったこともあり、これらの経験が子どもたちの成長につながり、村を誇りに思ってもらえるといいですね」。その他にも毎年11月にウテナの社員がゆずの収穫の手伝いに行っているそうです。

ウテナにも、北川村にも、双方にメリットがあり、持続性のある取り組みを、これからも地道に着実に進めていくことで、ブランドを盛り上げていきたいといいます。

「ウエルネスカンパニーとして、女性が長く仕事を続けやすい取り組みを行っています。産休・育休からの復帰率は、ほぼ100%。小学校6年生まで時短勤務ができる制度も好評です。男性の育休も増えていますよ」と広報室長の則包（のりかね）裕美さん

株式会社ウテナ｜南烏山1-10-22
TEL：03-3303-4111（代） https://www.utena.co.jp/

■取材担当・お問合せ：公益財団法人世田谷区産業振興公社 TEL：03-3411-6613